

土木學會選奨土木遺産

とうきょうどうりょくき か いせいぞうかぶしきがいしゃ ち か こうじょうあと

東京動力機械製造株式会社地下工場跡

平成24年度認定

- 所在地：栃木県那須烏山市
- 完成年：1945（昭和20）年
- 構造形式等：素掘りトンネル群 総延長約600m
- 管理者：地権者（問合せ：株式会社 島崎酒造）

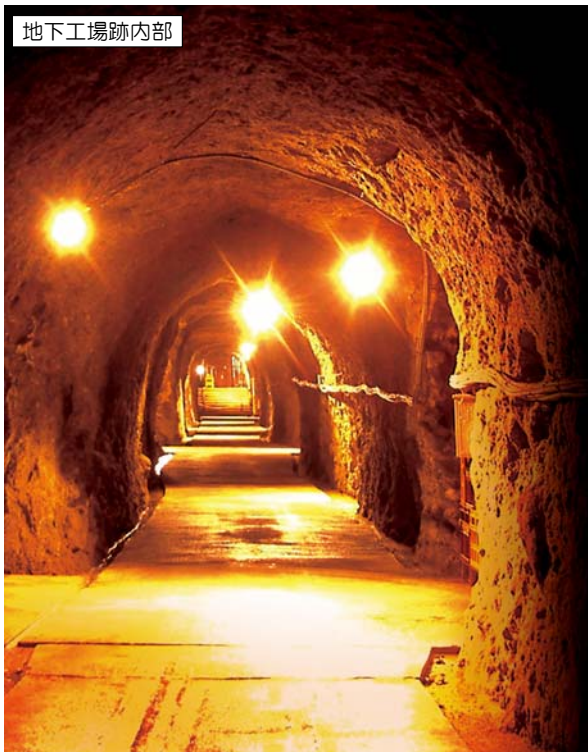
位置図



神長天神の小高い丘陵地の中腹に、人力で掘られたどくつがひっそりと佇んでいます。このどくつは、第二次世界大戦末期に戦車を製造するため建造された地下工場跡です。昭和19年、東京動力機械製造(株)の疎開により山裾に半地下式の工場が建造され、隣接してこの地下工場も造られました。半地下式工場では、終戦までにおよそ20台の戦車が製造されたと言われていました。しかし、この地下工場では戦車を製造することなく、終戦を迎えました。



地下工場跡入口と近代化遺産解説板



地下工場跡内部

地下工場は、高さ・幅とも約3.5mの3本の坑道とそれを結ぶ5本の横坑で構成された総延長約600mの巨大な地下空間です。この地が地下工場に選定されたのは、第14師団司令部が宇都宮に常駐していたという歴史的背景、さらに、丘陵地であり、かつ爆薬を必要としない掘削に適した地質など、自然的条件に適合していたことがあげられます。

現在この地下工場跡は、(株)島崎酒造の低温貯蔵庫として熟成酒の貯蔵に使用されるとともに、地下空間という特性を活かした仄かな烏山和紙の灯りとコンサートのコラボレーションによるイベントの開催や、また、映画の撮影などにも活用されています。

この施設は、風化しつつある戦争の記憶を無言で語り継ぐ平和の語り部として後世に伝えていくべき大切な遺産としての評価とともに、その平和を感受し得るイベントの企画や地域文化の発信等、遺産活用手法の好例と言えるでしょう。

どくつコンサートのリハーサル風景（提供：(株)島崎酒造）



【豆知識】

地下工場地を選定する際の条件として3点あげられます。

- ① 丘陵・山地の急勾配があること
 - ② 掘削・ズリ捨てに必要な敷地があること
 - ③ 掘削が容易な硬質土か軟岩で爆薬を使わなくてもよいこと
- 那須烏山市のこの地域の地質は凝灰質砂岩であり、軟岩に相当することから、すべての条件が満たされています。